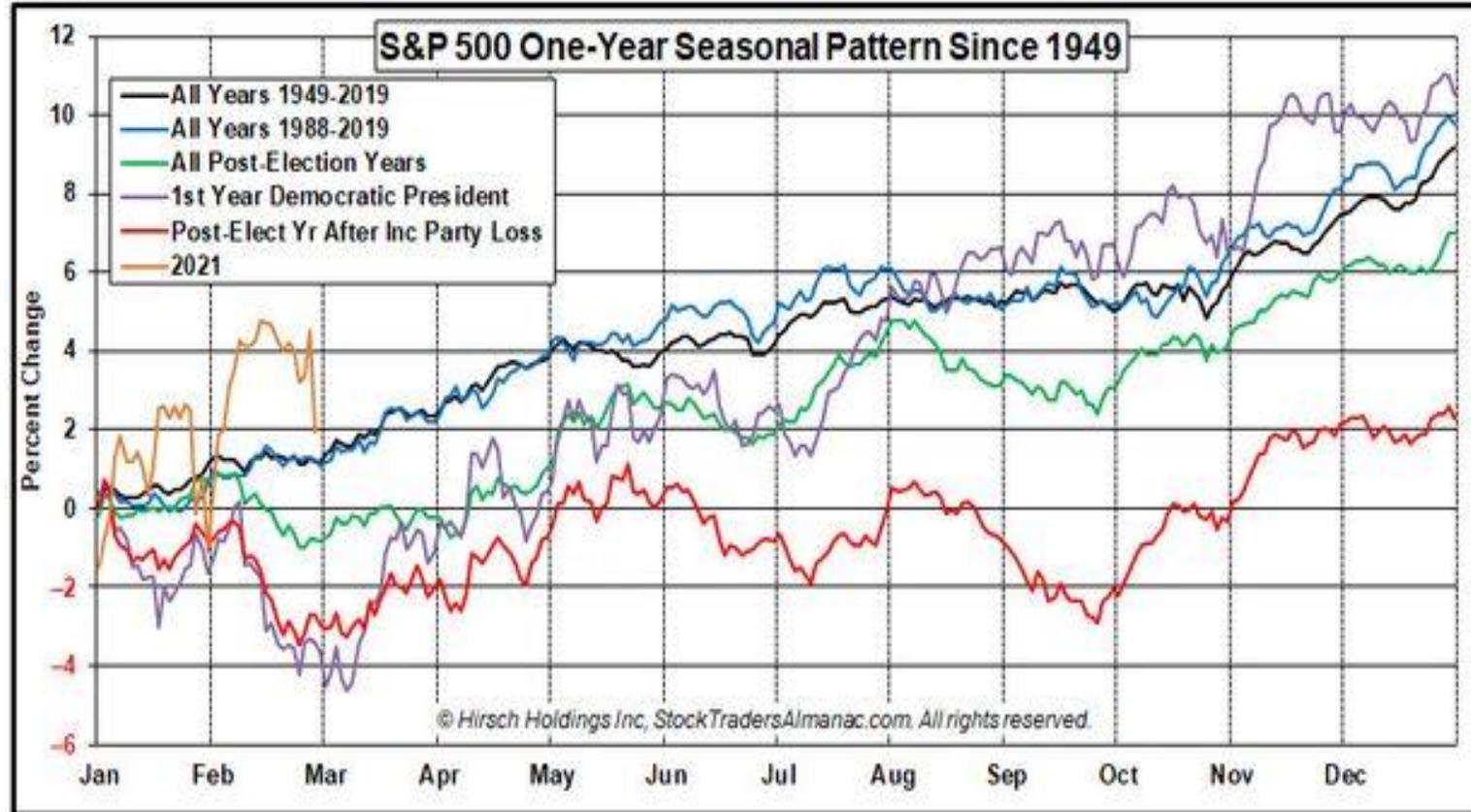


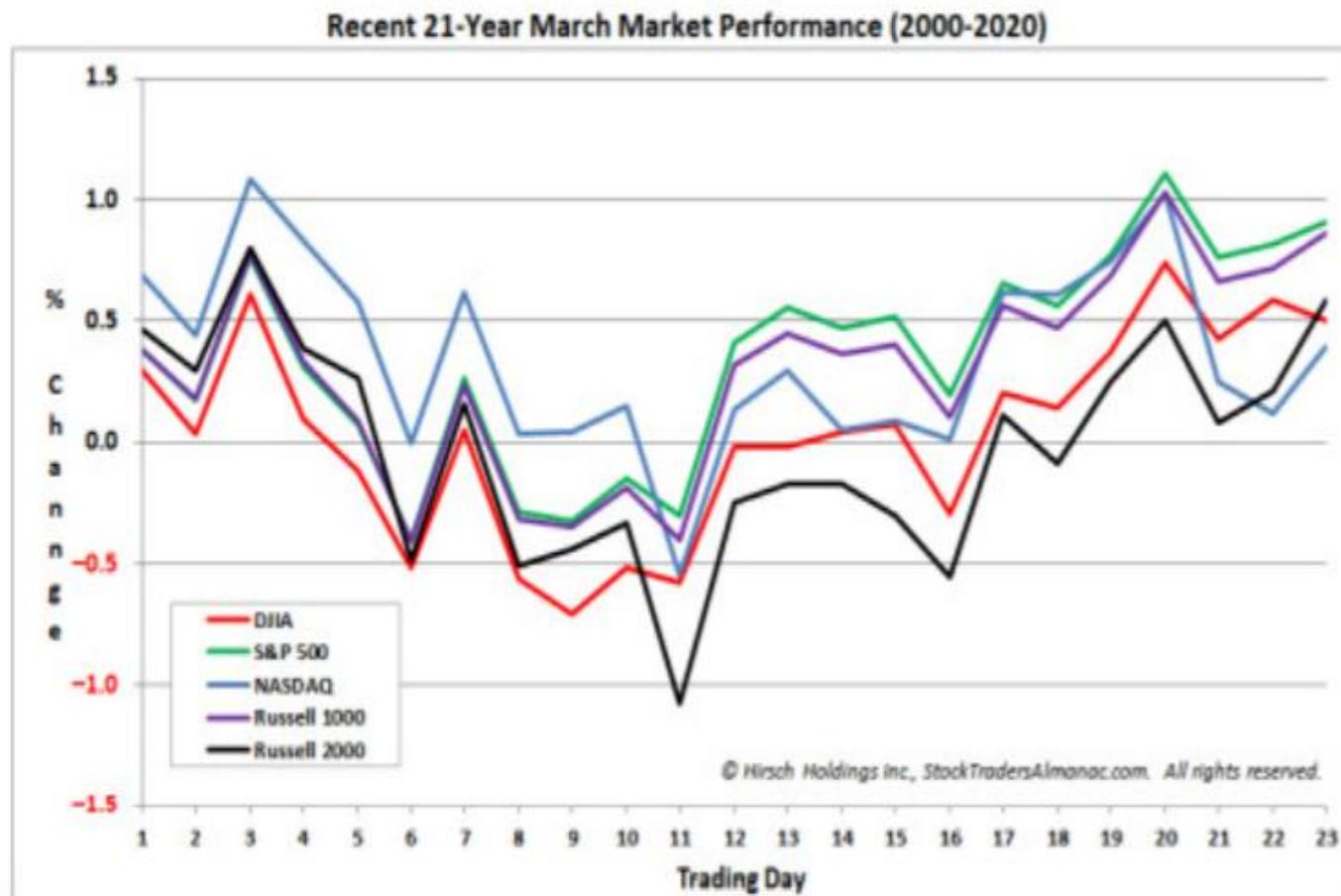
1949年以降のS&P500のシーズナリーパターン



(紺：1949年以降の全ての年 水色：1988年以降の全ての年 緑：選挙の翌年 紫：民主党政権1年目 黄色：2021年)

出所：マーケットウォッチ

過去 21 年間の 3 月の米国株のパフォーマンス(2000年～2020年)



出所：トレーダーズ・アルマナック（ジェフリー・ハーシュ）

ドルインデックス先物のシーズナリチャート



(上昇 = ドル高・下落 = ドル安)
出所：エクイティクロック

DVD 石原順のメガトレンドフォローシグナル

<https://www.tradersshop.com/bin/showprod?a=15686&c=9784775965399>



NYダウCFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

NYダウCFD (週足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル) メガトレンドフォロートレード



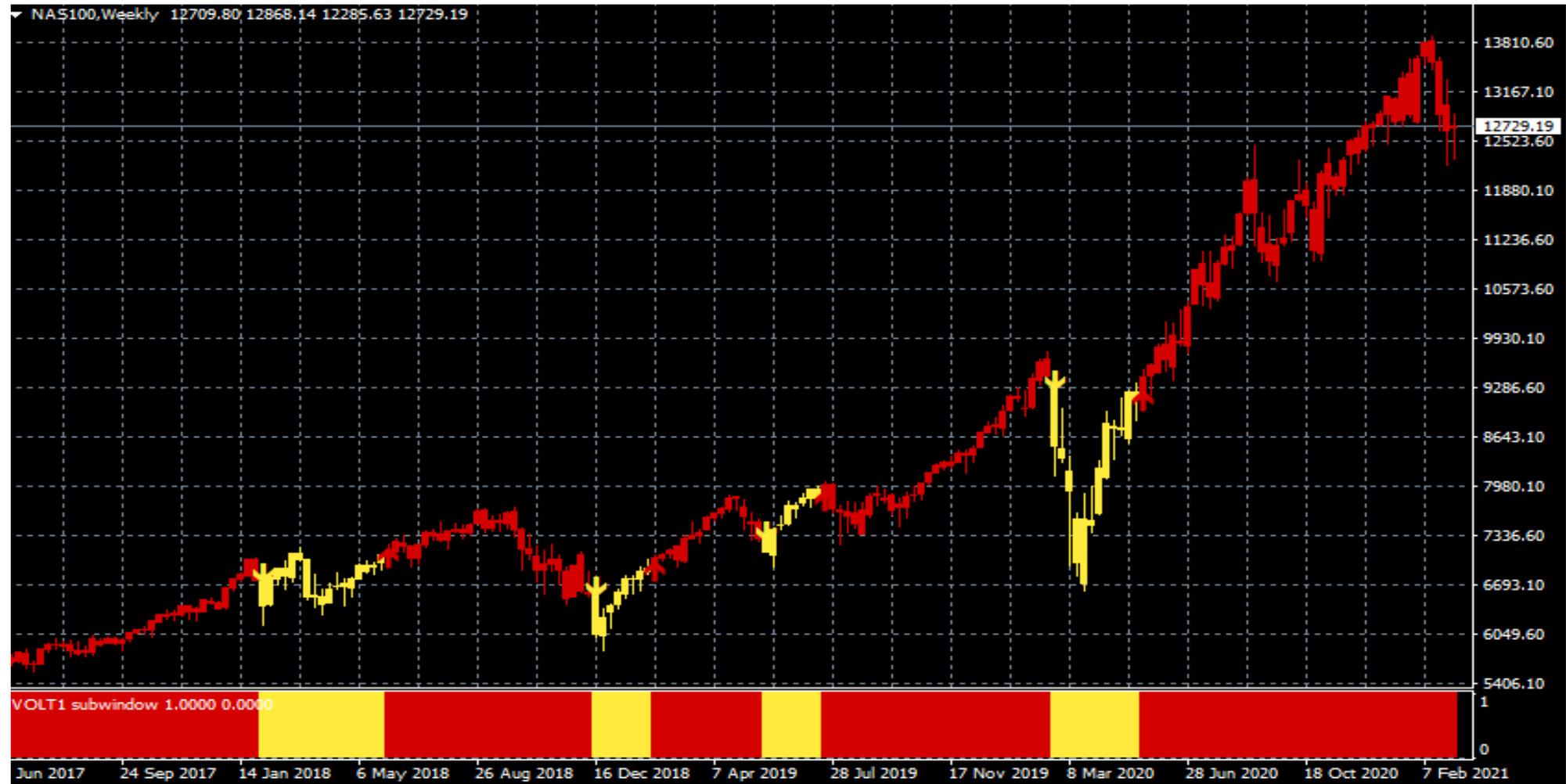
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ナスダック100CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ナスダック100CFD (週足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル) メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

日経平均CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

日経平均CFD（週足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

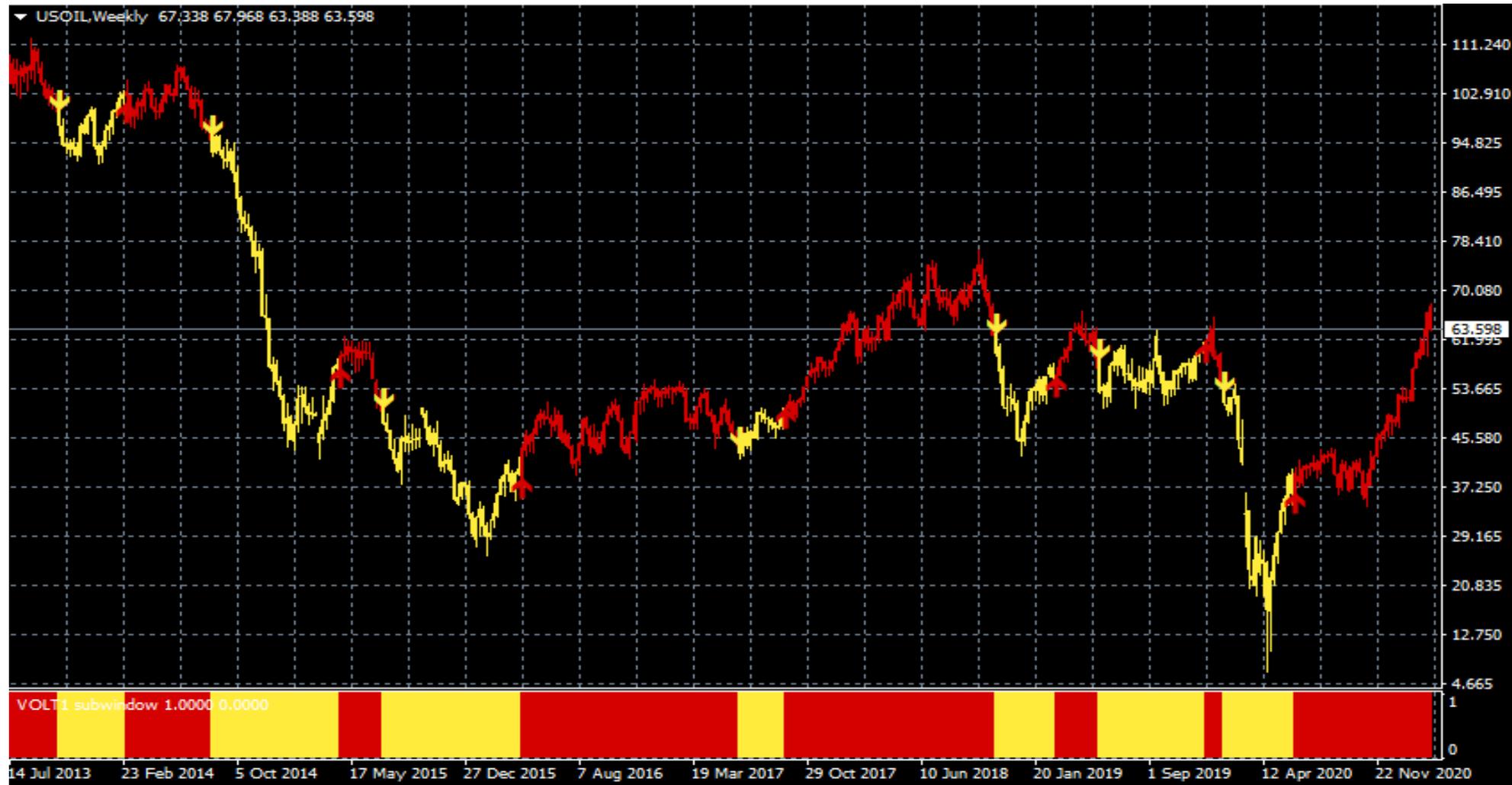
NY原油CFD（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル）

メガトレンドフォロートレード



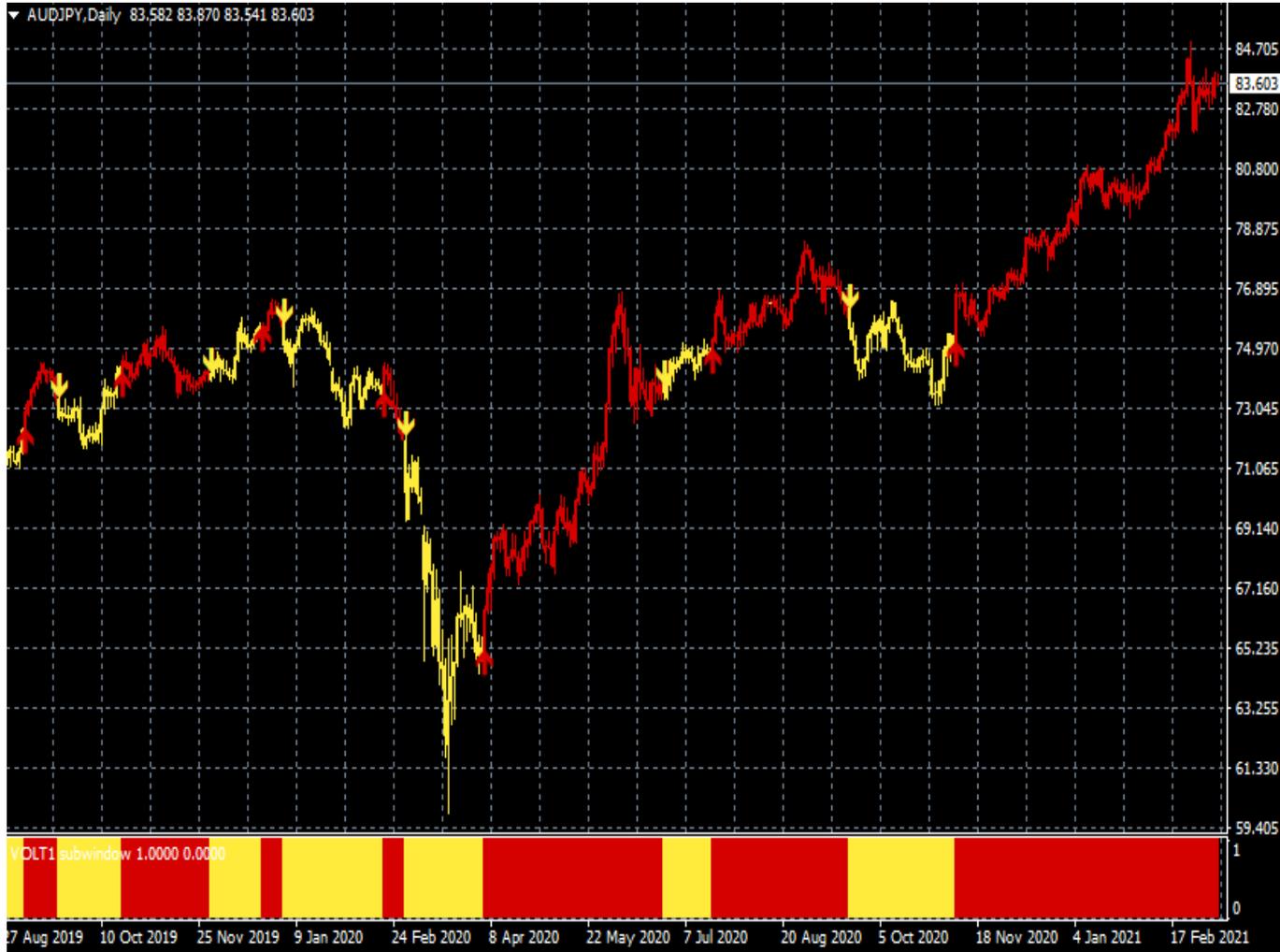
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

NY原油CFD (週足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル) メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

豪ドル/円（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



サクソ銀行の為替戦略責任者を務めるジョン・ハーディ氏は、円安の速度は「行き過ぎ、速過ぎとなり、必然的にどこかで壁にぶつかるだろう」との見方を示し、「資産市場がひどく落ち込み最終的に債券買いを引き起こした場合、全てのクロス円絡みの巻き戻しは劇的なものになるだろう」（3月5日 ブルームバーグ「どこまで行くドル・円相場、約3年ぶり高値か - 限界近いとの見方も」）と語った。

豪ドル/円 (週足)

メガトレンドフォロートレード



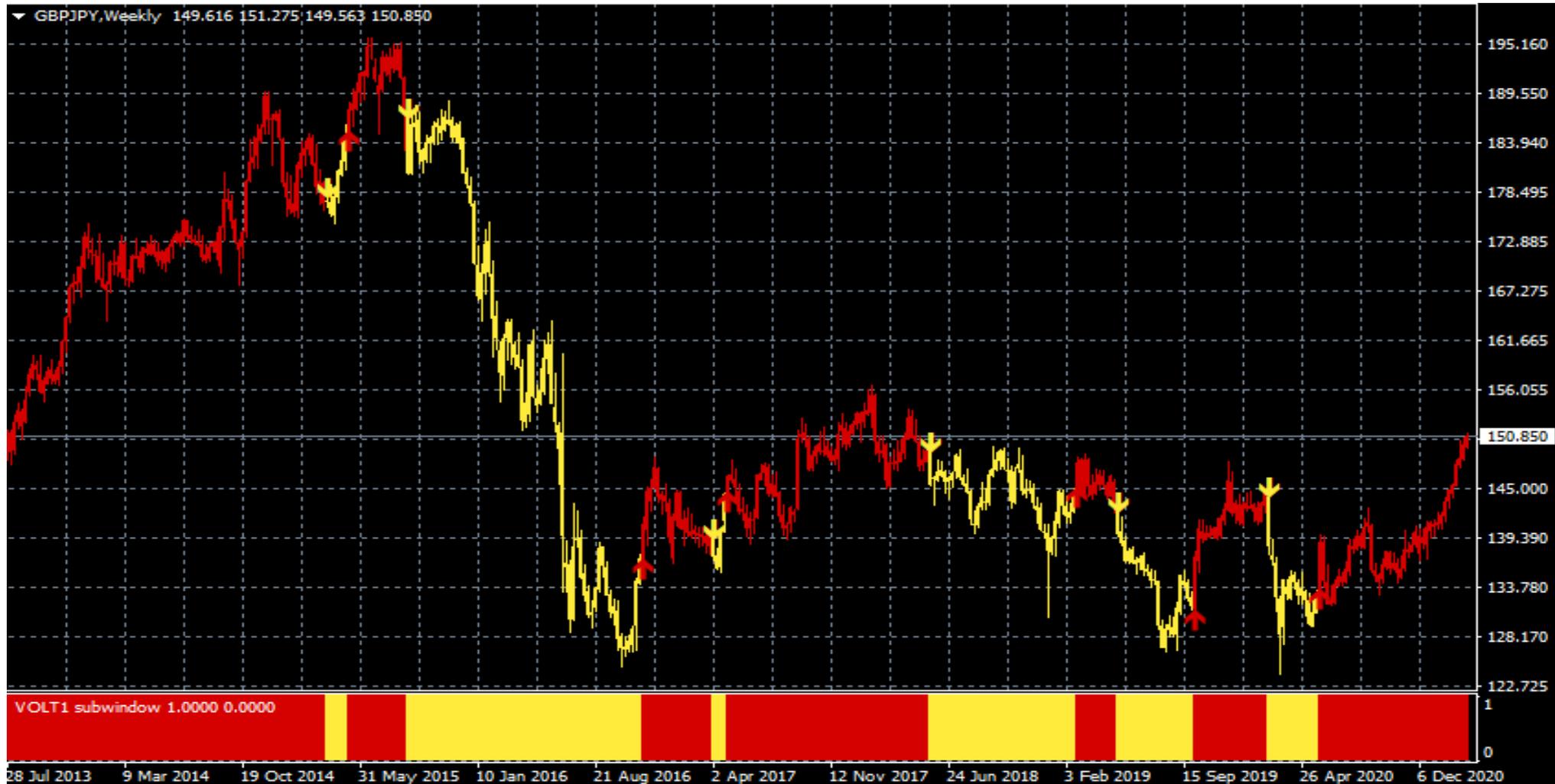
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ポンド/円（日足）（赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル） メガトレンドフォロートレード



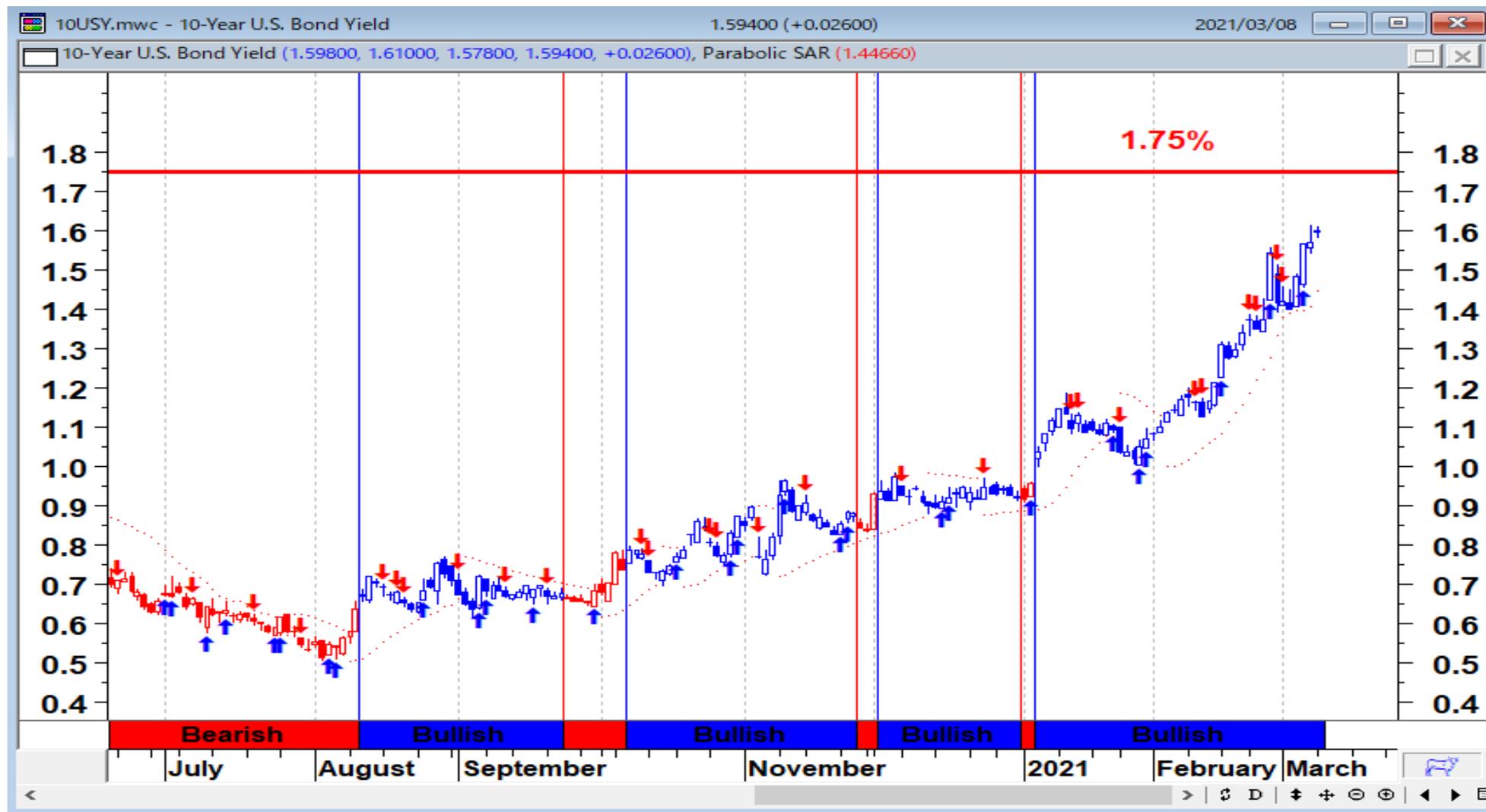
出所：楽天MT4・石原順インディケーター

ポンド/円 (週足) (赤↑ = 買いシグナル・黄↓ = 売りシグナル) メガトレンドフォロートレード



出所：楽天MT4・石原順インディケーター

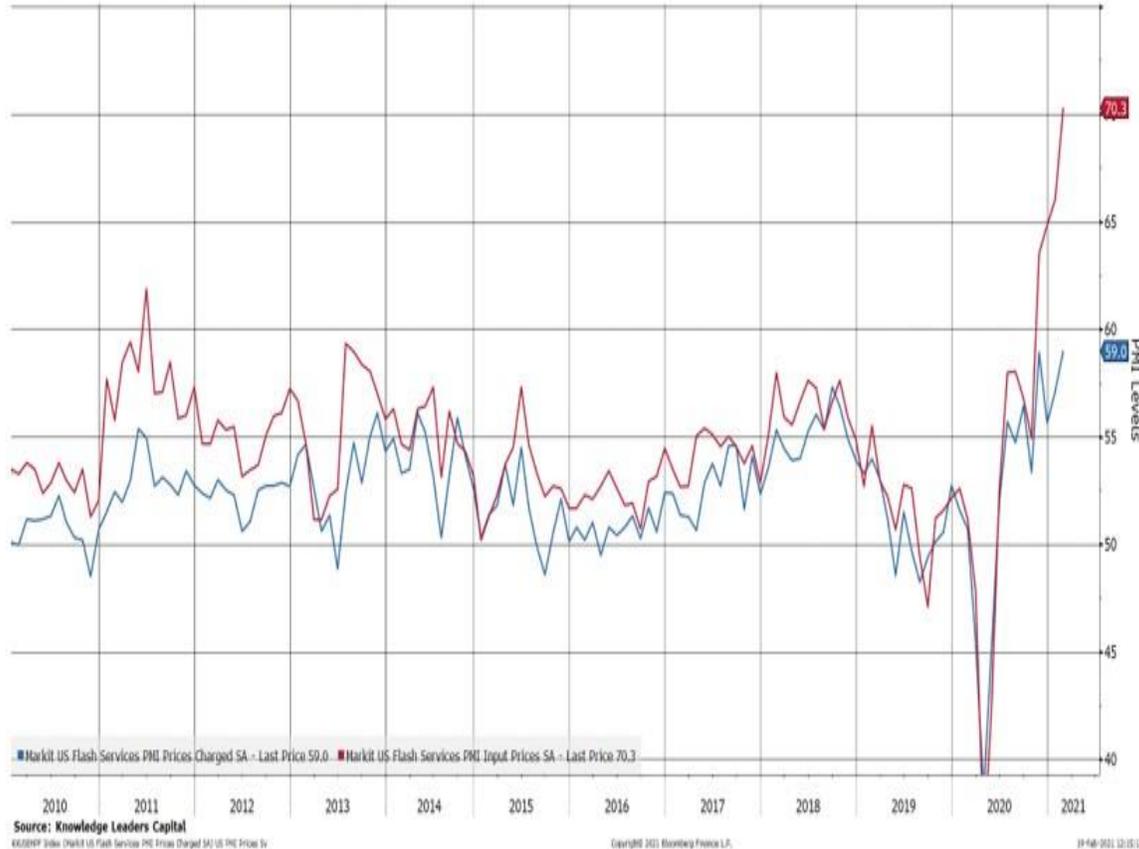
米10年国債金利 (日足)



出所：筆者作成

マークイットPMIの物価データ

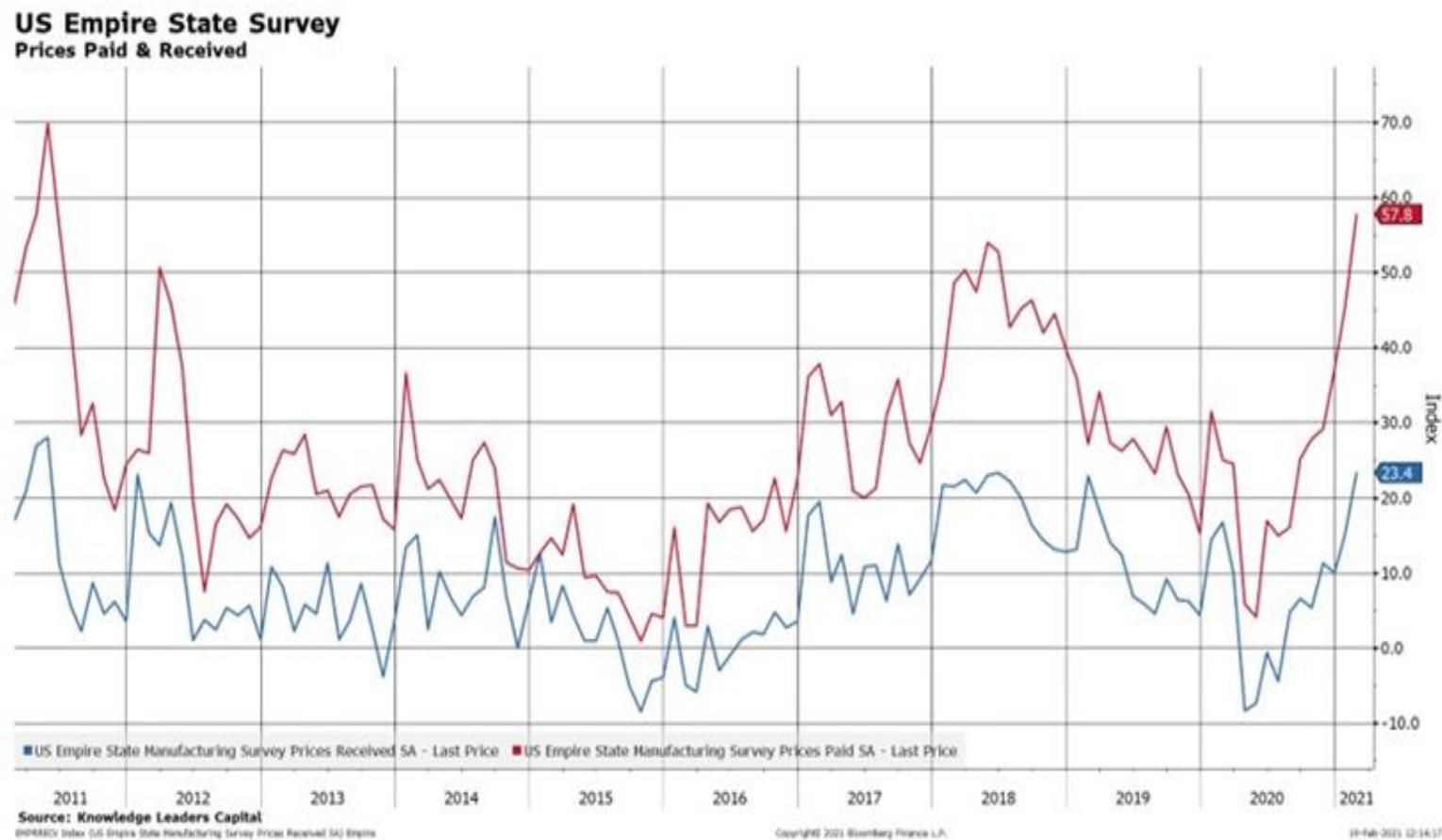
United States Markit Services Prices PMIs



「長期停滞経済のなか、インフレに
などなるものか？」という観測が多
い中、ようやく米国の経済統計の
中でインフレがはっきりと見られるよ
うになってきた。直近では、ニュー
ヨーク連銀のエンパイアステート調
査の物価データ、労働統計局の経
済全体の生産者物価データ、そし
てマークイットPMIの物価データが
発表されているが、いずれも大きな
上昇を記録し、市場の予想を大き
く上回る結果となった。

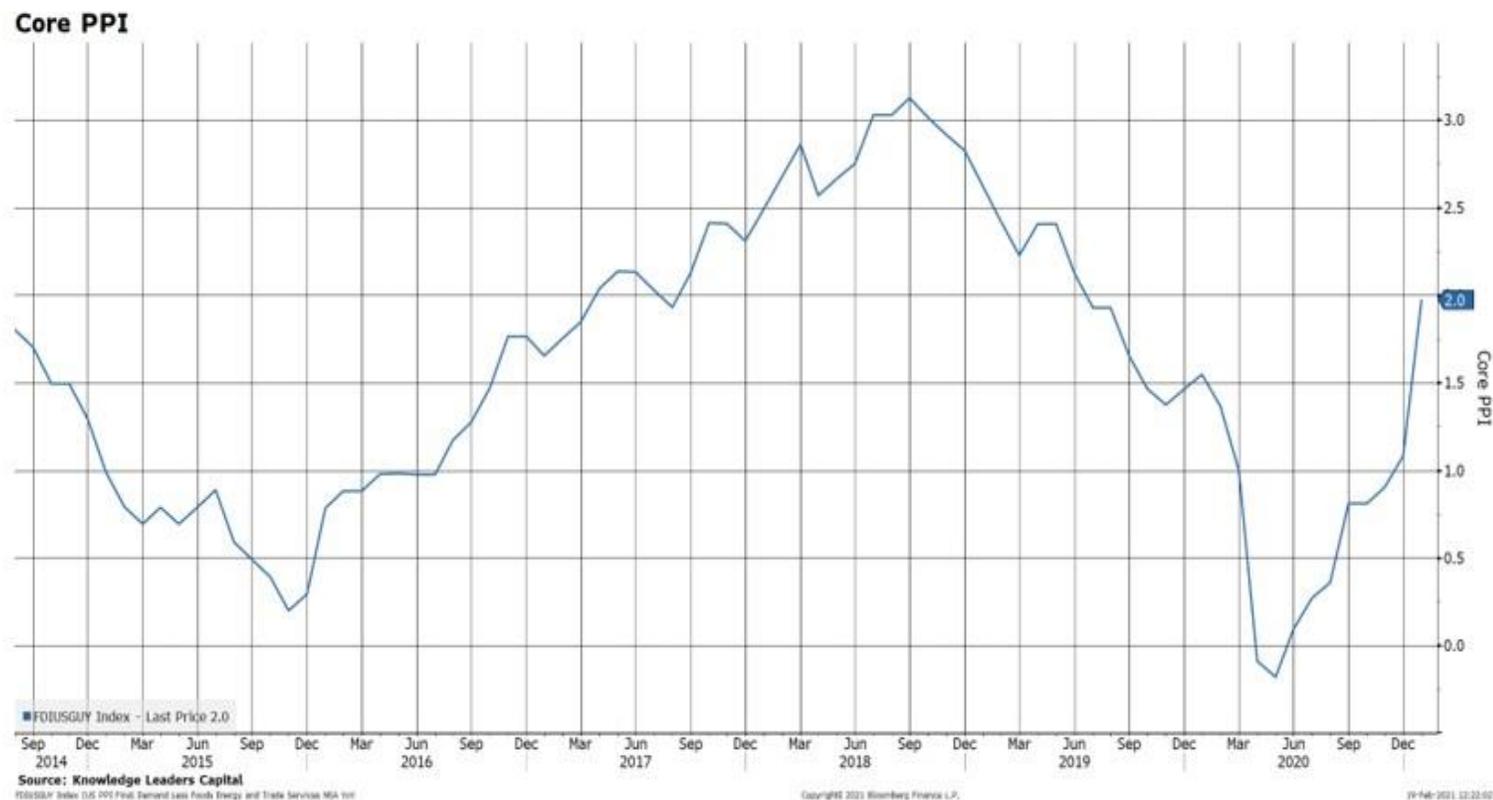
出所：ゼロヘッジ

エンパイアステートの製造業調査では、 支払価格は10年ぶりの高値を記録し、受取物価は9年ぶりの高値を記録



出所：ゼロヘッジ

コアとなる生産者価格（食品、エネルギー、貿易を除く価格）は 前年比2%の上昇を記録



出所：ゼロヘッジ

金利上昇と給付金バブルのせめぎあい

- 株式から債券へのシフト招く転換点は米10年債利回り1.75%という観測があるなか、ファンドは金利の上昇に慎重になっている。21兆ドル（約2280兆円）規模の米国債市場でも空売りが増えており、さまざまな資産クラスに重要な影響が及ぶ可能性がある。米長期金利2%到達なら、新興国の国債から大量に資金が流出するのではないかと言われている。
- 一方で、「そろそろ給付金バブル第2弾相場が始まるのではないか？」という期待感が株式市場にはある。バイデン米大統領の1兆9000億ドル（約207兆円）規模の追加経済対策の下で米国民への直接給付が近く行われる見通しとなっているからだ。
- 第二弾の給付金バブルで、再度ロビンフッター相場が到来するのだという。給付金バブル相場とは、「人々がコロナウイルス関連のロックダウンに飽きて、スポーツに賭けることができなかったので、投資や金融分析ではなくエンターテインメントの一形態として株式に賭けることになった」現象をいう。

「相場の大天井付近では、投資家は極めて楽観的となる。ここ1~2年のほとんどで値を上げたのをみているからだ。その間に目撃された反落は通常、短期的である。厳しい反落があったときでさえ、相場はすぐに戻し、さらに一段高となるのが常だ。大天井では、楽観主義者が王となり、投機家が暴れまわり、株価収益率が高くなり、流動性が干上がってしまう。そうなれば、金利のわずかな上昇をきっかけに弱気相場が引き起こされやすくなる」

(マーティン・ツバイク)

現在のところ流動性は干上がっていない。また、しばらく干上がりそうにないと断言できる。紙幣増刷と財政赤字のドリームチーム「パウエル&イエレン」が指揮をとっているからだ。



過去のバブルと比べた現在の状況

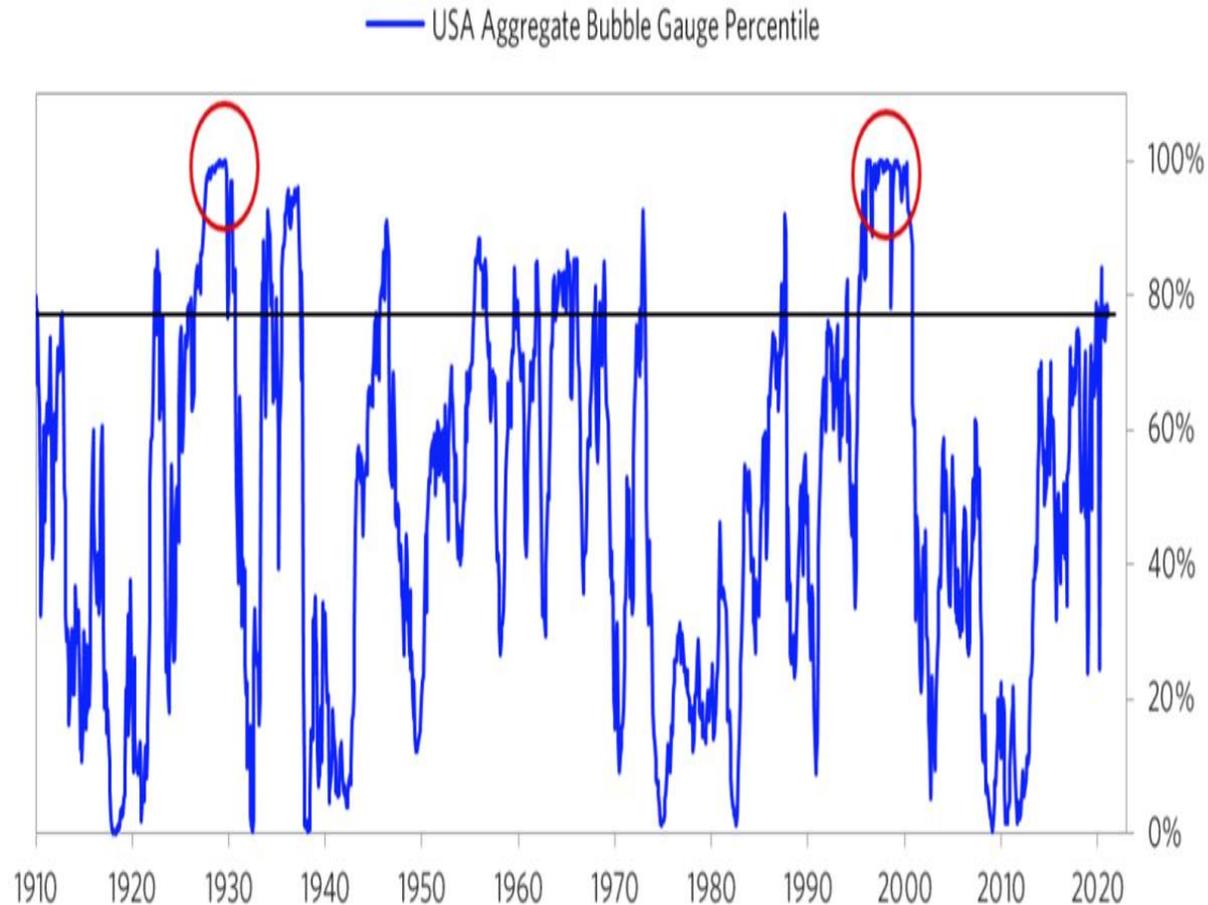
Current Conditions Compared to Previous Bubbles

	Roaring 1920s	Dot-Com Bubble	2007	Today: Emerging	
				Today: Total Mkt	Tech
1 Prices Are High Relative to Traditional Measures	Bubble	Bubble	No Bubble	Somewhat Frothy	Frothy
2 Prices Are Discounting Unsustainable Conditions	Bubble	Bubble	No Bubble	No Bubble	Frothy
3 New Buyers Have Entered the Market	Bubble	Bubble	Frothy	Frothy	Bubble
4 There Is Broad Bullish Sentiment	Bubble	Bubble	Frothy	Frothy	Bubble
5 Purchases Are Being Financed by High Leverage	Bubble	Bubble	Bubble	Somewhat Frothy	Bubble
6 Buyers/Businesses Have Made Extended Forward Purchases	Frothy	Bubble	Bubble	No Bubble	Somewhat Frothy

- 1 一般的な測定値と比較して、価格はどの程度高いか？
- 2 価格は持続不可能な状況を割り引いたものになっているか？
- 3 新規購入者（つまり、これまで市場に参入していなかった人）の数は？
- 4 強気のセンチメントはどの程度広がっているのか？
- 5 購入者は高レバレッジの融資を受けているか？
- 6 買い手は、将来の価格上昇から防御するか、もしくはは投機をするために普通以上に先買い（例：在庫の積み上げ、先買い契約など）をしているか？

株式全体を通じてみれば、3つ目と4つ目の指標に関して「フローシー（小さな泡立ち）」が確認される状態であり、その他についてはバブルとは言えない。ただし、銘柄ごとに非常に大きな差があり、極端なバブルに陥っている銘柄（特に新興テクノロジー企業）もあれば、そうでない銘柄もある。米国の上位1000社のうち極端なバブルにある銘柄の割合は約5%で、その割合はテックバブルのピーク時の約半分だとしている。

米国のバブルゲージのパーセンタイル



1929年と2000年のバブルにおいては、この総合ゲージは100パーセンタイルを超えていたのに対し、現在の米国株式市場全体のバブル指数は77パーセンタイル前後であり、レイ・ダリオは米国株市場にはまだ上昇の余地はあると結論づけている。

出所：レイ・ダリオ「Are We In a Stock Market Bubble?」

世界は人為的につくられた流動性で溢れている。この流動性の恩恵を受けることができた人たちは笑いが止まらない状態だが、流動性がストップしてしまうと悲惨な状況に襲われることになる。

「私たちは、中央銀行が経済をコントロールし、危機を好きなように止めることができると信じて自己満足に陥ってきた。これは危険な誤謬である。急激なインフレが発生すれば、中央銀行は最終的に利上げを余儀なくされ、過大なレバレッジをかけてゾンビ化した企業や、債務超過でゾンビ化した欧州諸国はほぼ確実に倒されるだろう。金融市場の完全な混乱は、世界が不況か恐慌に陥るのは明らかだ」と、ヌリエヌ・ルービニは述べているが、われわれが注意すべきは金利の上昇よりも、その上昇スピードであろう。

「相場の大天井付近では、投資家は極めて楽観的となる。ここ1~2年のほとんどで値を上げたのをみているからだ。その間に目撃された反落は通常、短期的である。厳しい反落があったときでさえ、相場はすぐに戻し、さらに一段高となるのが常だ。大天井では、楽観主義者が王となり、投機家が暴れまわり、株価収益率が高くなり、流動性が干上がってしまう。そうなれば、金利のわずかな上昇をきっかけに弱気相場が引き起こされやすくなる」(マーティン・ツバイク)

グレートリセット＝圧縮された時間枠で世界経済をクラッシュさせようとする強烈なドライブは、デジタルゼロの中央銀行の貨幣を作り出すためのものである。現在、中央銀行は、何千億もの貯蓄された資本のコントロールを失いつつある。

未来の事は誰もわからない。だから、相場についていく。

Q：世界的に前例のない影響を考えると、この時期に金融市場に何が起こるかを予測できるか？

A：いやわからない、だからこそ私はいつも同じことをいう。そして私はどうなるかわからない中で言っているのだ。（ジェフリー・ガンドラック）